

1ch FFTに周波数レンジを追加する手順書

Ver.1

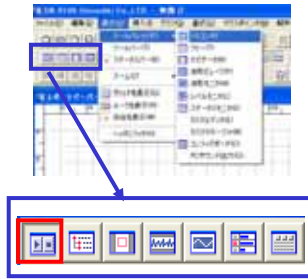
本手順書の内容

1. Repolyzer(XN-8100)の起動
2. ORFファイルの選択
3. コンフィグボード(解析条件)の設定
 1. 校正
 2. 周波数レンジ設定
 3. 周波数分解能(ライン数)の設定
 4. 平均化の設定
4. グラフ表示
5. ツールパレット表示
 1. 波形ビューア(オプション XN-0850)
 2. ステータスマニタ
6. 計測
7. プロジェクトの保存

1. Repolyzer(XN-8100)の起動及びリモコンパレット表示



デスクトップ上の左のアイコンをダブルクリックして、Repolyzer (XN-8100)を起動してください。



リモコンパレットツールボタン

リモコンパレット(下図)の表示

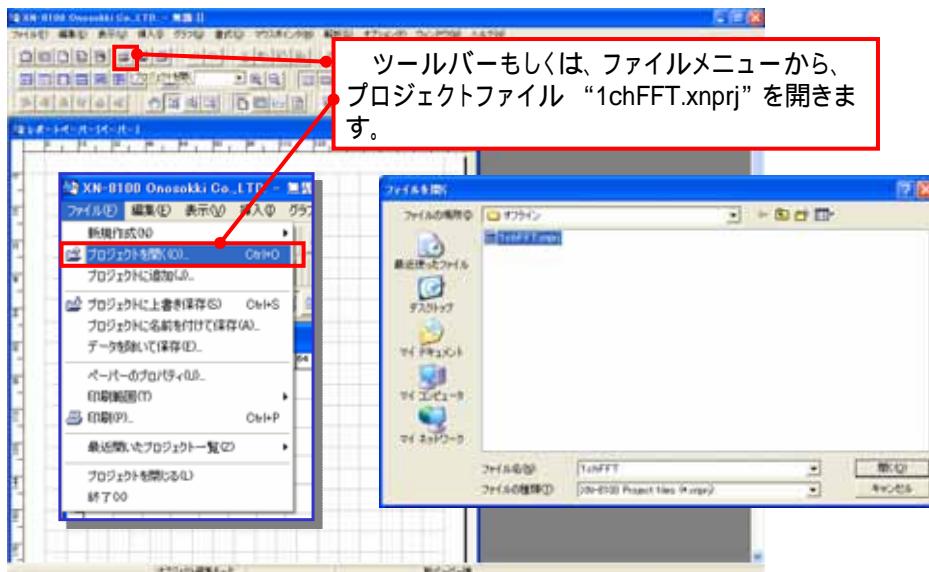
左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。



リモコンパレット



2. 1chプロジェクトを開く



ツールバーもしくは、ファイルメニューから、プロジェクトファイル “1chFFT.xnprj” を開きます。



2.1chプロジェクトを開く : プロジェクトの確認

このような画面になったでしょうか?

Repolyzer

5

2.1chプロジェクトを開く : ORFファイルの選択

リモコンパレット

リモコンパレットの FileReadボタンを押す

FileReadボタンの右側の細ボタンを押して、ファイル選択ダイアログを開く

“デモ信号.ORF”を選択する。

注: “Repolyzerサンプルデータ”フォルダは、RepolyzerインストールCDから、Repolyzerをお使いになるPCにコピーしておいて下さい。

Repolyzer

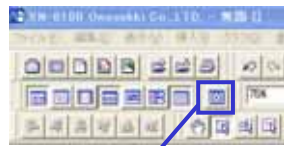
6

3. コンフィグボード(解析条件)の設定



コンフィグボードとチャンネルパレット
(下図)の表示

左図のメニューまたは、ツールボタ
ンで、表示できます。



コンフィグボードツールボタン



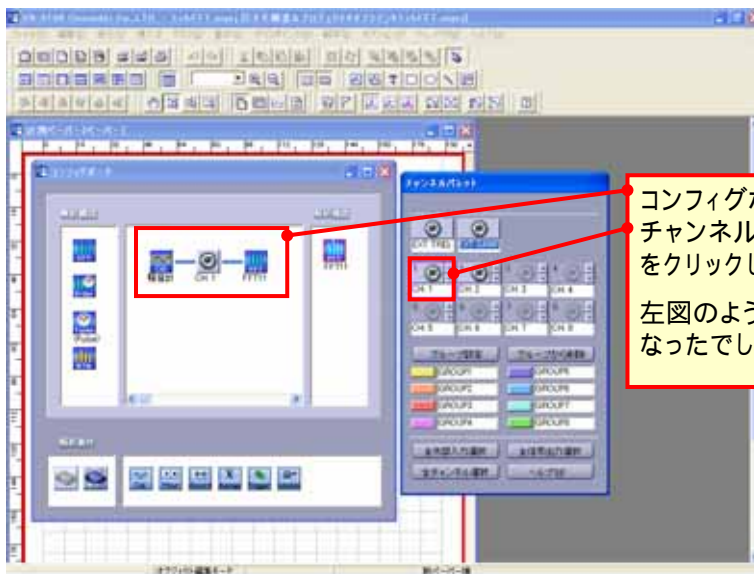
コンフィグボード



チャンネルパレット



3. コンフィグボード(解析条件)の設定 : 設定の確認



コンフィグボードを開いて、
チャンネルパレットの“CH.1”
をクリックしてください。
左図のようなツリー表示に
なったでしょうか？



3. コンフィグボード(解析条件)の設定 : 解析機能の名称変更

The screenshot shows the Repolyzer software interface. A 'コンフィグボード' (Configuration Board) window is open, displaying a tree view of analysis functions. A dialog box titled '名前の変更' (Rename) is open, with the name 'FFT 2kHz' entered. A red box highlights the 'FFT11' icon in the tree view, and another red box highlights the '名前の変更' dialog box. A yellow callout box contains the following text:

解析機能の“FFT11”アイコンを右クリックし、FFT解析機能の名称を“FFT 2kHz”に変更します。”

At the bottom left of the slide is the Repolyzer logo, and at the bottom right is the number 9.

3. コンフィグボード(解析条件)の設定

The screenshot shows the Repolyzer software interface. A 'コンフィグボード' (Configuration Board) window is open, displaying a tree view of analysis functions. A yellow callout box contains the following text:

このようなツリー表示になったでしょうか？
チャンネルパレットでは、“CH.1”をクリックしている状態です。

Another yellow callout box contains the following text:

2つめのFFT解析機能を追加します。
FFTをコンフィグボードの中央部にドラッグします。

At the bottom left of the slide is the Repolyzer logo, and at the bottom right is the number 10.

3. コンフィグボード(解析条件)の設定

設定ダイアログが開きます。

周波数レンジを次数レンジを“0.5kHz(1.25kHz)”であることを確認します。
周波数分解能を“1.25Hz(400Line)”に変更します。

OKをクリックします。

Repolyzer

11

3. コンフィグボード(解析条件)の設定 :チャンネルを追加

このような表示になったでしょうか？

これで、チャンネル1に周波数レンジが2kHzと500HzのFFTが割り付けられました。

“FFT12”の名称を“FFT 500Hz”に変更します。
手順は、「3. コンフィグボード(解析条件)の設定 :解析機能の名称変更」と同様です。

Repolyzer

12

3. コンフィグボード(解析条件)の設定 : 設定の確認

左のような表示になったでしょうか?

コンフィグボードを閉じてください。

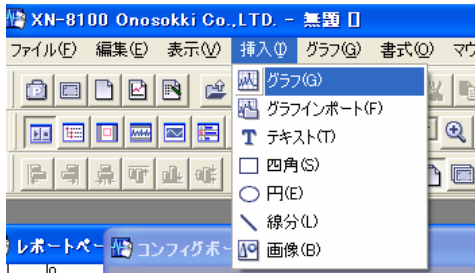
13

4. グラフ表示

グラフを追加します。

14

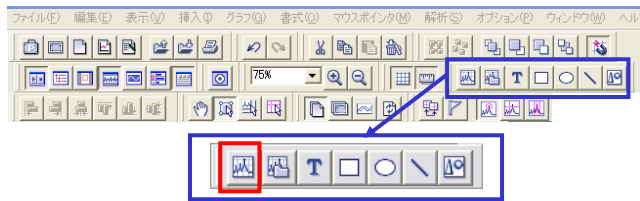
4. グラフ表示



グラフの表示は、レポートペーパーに、グラフオブジェクトを配置する事で実現します。

左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。

また、グラフ以外の四角や、画像もオブジェクトとして、レポートペーパーに配置できます。

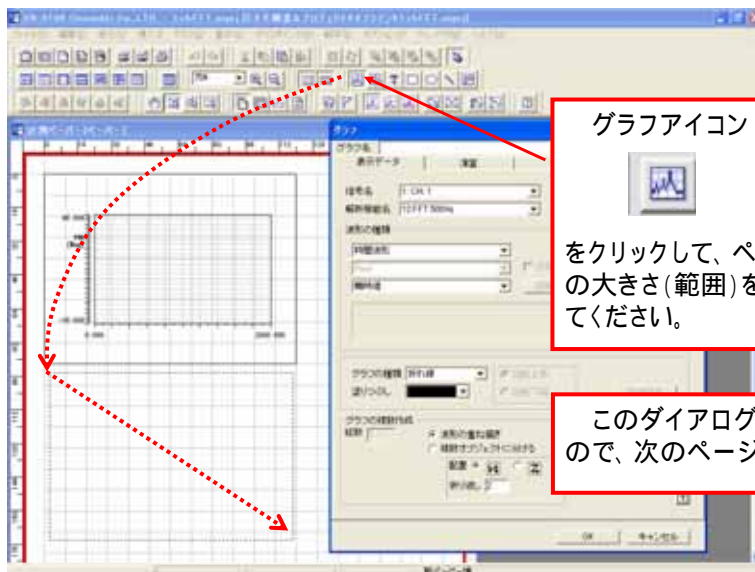


オブジェクト挿入ツールボタン

(左から、グラフ、ファイルデータ、テキスト、四角、円、線分、画像)



4. グラフ表示



グラフアイコン

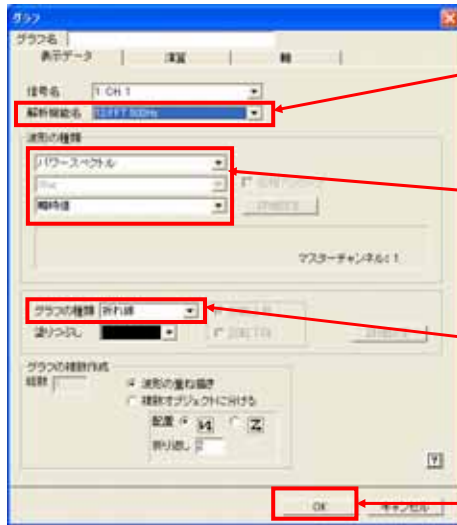


をクリックして、ペーパー上でグラフの大きさ(範囲)をドラッグで指定してください。

このダイアログが表示されるので、次のページの様に設定。



4. グラフ表示



解析機能名で、
“12:FFT 500Hz”
を選びます。

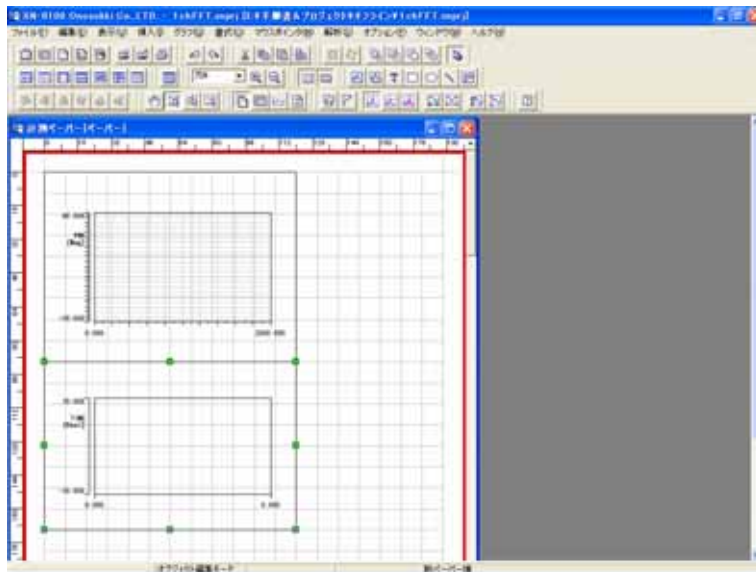
波形の種類は、
パワースペクトル
瞬時値
を選択します。

グラフの種類は、デフォルト
(折れ線)とします。

OKボタンをクリックします。



4. グラフ表示



4. グラフ表示

グラフを左クリックして選択します。左の図のように、グラフの周囲が緑色の四角で囲まれます。

選択したグラフ上で、右クリックし、ポップアップメニューから**グラフの設定**を選択します。

* グラフをダブルクリックしても開くことができません。ただし、オブジェクトを配置したり移動したりできるオブジェクト編集モードの場合。

19

4. グラフ表示

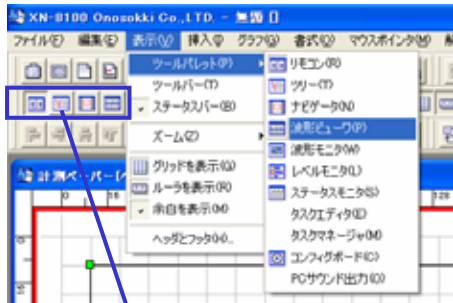
グラフ設定ダイアログ

- ・このダイアログには、**OK**および**キャンセル**ボタンがありません。
- ・変更は逐次グラフに反映されます。
- ・また、別のグラフを選択すると、グラフダイアログを閉じることなく、指定したグラフの設定を変更することができます。

* テンキーは、別の項目をクリックするか、適用ボタンで数値が確定します。

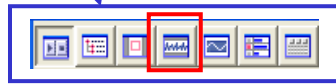
20

5. ツールパレット表示 (波形ビューワ)



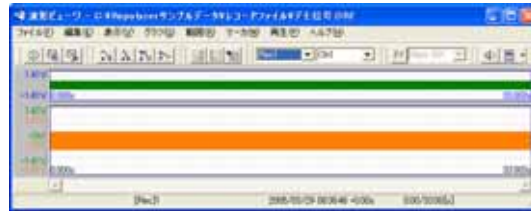
波形ビューワ(下図)の表示

左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。

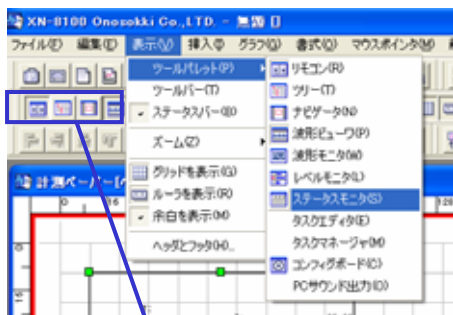


波形ビューワツールボタン

波形ビューワ(XN-0850 オプション)



5. ツールパレット表示 (ステータスマニタ)



ステータスマニタ(下図)の表示

左図のメニューまたは、ツールボタンで表示できます。



ステータスマニタツールボタン



ステータスマニタ



6. 計測

The screenshot shows the Repolyzer software interface with two graphs displaying measurement data. A 'Start' button is highlighted in a red box, and a 'Stop' button is also highlighted in a red box. A 'Project' dialog box is open in the background.

Startボタンを押して計測を開始します。

Stopボタンで計測を終了します。
左の図は、計測終了後の画面です。計測結果のペーパーが追加されています。

23



7. プロジェクトへの保存

The screenshot shows the 'File' menu with 'プロジェクトに名前をつけて保存(A)...' highlighted. Below it, the toolbar shows the 'Project Save' button (a folder icon with a plus sign) highlighted in a red box.

測定条件、レポートペーレイアウト、データを一括してプロジェクト(*.xnprj)に保存が可能です。

左図のメニューまたは、下図ツールボタンでプロジェクトの保存できます。

プロジェクト保存
ツールボタン

24

